

・5Gを取り巻く現状



上記は月足の日経平均株価。私は個別株オンリーの投資家なので全体指数は参考程度しかしないのですが、紫の線の2年移動平均線を株価は下から上に抜けて年初来高値になりました。下のモメンタムは紫の線が緑の線を下から上に抜けてゴールデンクロスしそうです。翻って2015年12月に株価は上から下に抜けて紫の2年移動平均線を抜け、16年10月には逆に上に抜けてきました。この間11か月間。

そして直近では2018年12月に下抜け→2019年10月に上抜け&モメンタムのゴールデンクロスが起こっています。同じく11か月間。

調整期間を抜けて上昇トレンドになったのではないのでしょうか？

前回は16年10月~17年9月までじりじり高い相場で資金は新興株に行ったのですが今回はその高値掴みの咎めで指数採用の大型株が来る気がします。

未来のことは分かりませんが緩やかな指標である2年移動平均線の上に株価がいるということは強気のシグナルです。そう、实体经济を取り巻く環境は景気後退下で最悪であっても。経済対策を打つであろう期待と日銀株価下支えから需給は悪くないのです。

銘柄はそれに沿ってデフェンティブが多くなっているのは仕方がないところです。

今回は5Gを取り巻く環境について考察したいと思います。

最近5Gはその将来性について自動運転や仮想ゲーム空間などの応用で話題になっています。

そもそも5Gとは第5世代移动通信システムの略称です。

その特性は大きく3つのものがあります。